

分野（領域）	統合分野	科目名	医療安全		
単位（時間）	1（21時間）	開講時期	1年次	2年次	3年次
講師	外部講師				
科目目標	1. 看護・医療事故を自分自身に生じる身近な問題としてとらえることができる。 2. 看護・医療事故の防止に関する看護職者の責任と役割を理解できる。 3. 看護業務の実施に伴う種々のリスクを認識できる。 4. 看護を安全に提供するために必要な事故防止策を組織的・個人的な取り組みに分けて説明できる。 5. 安全な看護・医療システムの構築のために、一医療従事者として寄与する方法を習得できる。				
【講義内容】 第1章 事故防止の考え方を学ぶ A 医療事故と看護業務 B 看護事故の構造 C 看護事故防止の考え方 第2章 診療の補助の事故防止（Ⅰ）患者に投与する業務における事故防止 A 業務特性からみた患者に投与する業務の事故防止（総論） B 注射業務と事故防止 C 注射業務に用いる機器（輸液ポンプ・シリンジポンプ関連）での事故防止 D 輸液業務と事故防止 E 内服与薬業務と事故防止 F 経管栄養（注入）業務と事故防止 第3章 診療の補助の事故防止（Ⅱ）継続中の危険な医療行為の観察・管理における事故防止 A チューブ管理と事故防止 第4章 療養上の世話の事故防止 A 療養上の世話における2群の事故のとらえ方と防止（総論） B 転倒・転落事故防止 C 摂食中の窒息・誤嚥事故防止 D 異食事故防止 E 入浴中の事故防止 第5章 業務領域をこえて共通する間違いと発生要因 A 業務領域をこえて共通する患者間違い B 間違いを誘発する多重課題、タイムプレッシャーと業務途中の中断 C 新人特有の危険な思い込みと行動パターン 第6章 医療安全とコミュニケーション A 不正確・不十分なコミュニケーションは事故の重要要因 B 事故防止のための医療職間のコミュニケーション C 医療事故防止のための患者とのコミュニケーション D 事故の未然防止上重要なコミュニケーション 第7章 看護師の労働安全衛生上の事故防止 A 職業感染 B 抗がん剤の曝露防止 C 放射線被曝 D ラテックスアレルギー E 院内暴力 第8章 組織的な安全管理体制への取り組み A 組織としての医療安全対策 B システムとしての事故防止の具体例 C 重大事故発生時の医療チームおよび組織の対応 第9章 医療安全対策の国内外の潮流 A わが国の医療安全対策の潮流 B 国外の医療安全対策の潮流と国際的連携 C 産業界から学ぶ—ヒューマン・ファクターズの取り入れ					
【テキスト／参考文献】 系統看護学講座 統合分野 看護の統合と実践[2] 医療安全 第1章～第7章					
【評価】 学科試験 筆記；100点をもって満点、60点をもって合格とし、60点未満を不合格とする					